

「陶山地区まちづくり計画」素案について パブリックコメントの実施結果

陶山地区みんなが輝くまちづくり協議会

「陶山まちづくり計画」素案についてのパブリックコメントの募集は、1月31日をもって終了しました。

ご協力いただきました皆様ありがとうございました。

提出された意見の概要、意見に対する陶山まちづくり協議会の考え方は、下記のとおりです。

1 意見募集の結果

(1) 意見提出者の数 7名

(2) 意見の数 10件

2 意見の内容及び陶山まちづくり協議会の考え方

	ご意見の要旨	陶山まちづくり協議会の考え方
1	<p><まちづくり計画について> 記載されていることは、すべて日頃から感じていたことばかりで、これを計画案として公表されたことは、住民の意識啓発、向上につながり大変いいことだと評価します。活動には自分の出来ることから参加していきたいと思っています。</p>	<p>まちづくり計画の活動は、住民の積極的な参加なしには出来ません。「みんなが笑顔で暮らし元気あふれる陶山」を目指して、みんなで手をつなぎ活動を進めていきましょう。</p>
2	<p><まちづくり計画について> この計画案を見て感じたことは、笠岡市が消滅都市予備軍といわれていることの対策として市の行政の合理化と経費削減のための計画案だと思いました。 ボランティア活動に参加することは、高齢化の進んだ陶山には、夢も希望もありません。大切なまちづくり活動からは離れていくと思います。 陶山のまちづくりのあるべき姿は、互いに思いやり、楽しく老若男女が集える場所づくりだと思います。</p>	<p>笠岡市にとって消滅都市予備軍といわれていることは、現状を見ると致し方ないことです。実際に消滅都市にならない為にもこの計画にあるように「みんなが笑顔で暮らし元気あふれる陶山」を目指していきましょう。行政の合理化と経費削減のためではありません。 住民には、地域を活性化して、若い人にも魅力ある、住んで良かった、住んでみたいと思う陶山にする思いがあります。そのためには、ボランティアの力が必要です。 みんなが集える場所づくりも積極的に作っていきましょう。</p>

	ご意見の要旨	陶山まちづくり協議会の考え方
3	<p><まちづくり計画の財源について> このまちづくり計画案は、多種多様にわたり、住民生活をエンジョイしていくうえで有効なものと考えます。この計画を進める財源は、国、県、市の交付金や補助金だと思いますが、さらに一歩踏み出すために「陶山振興ファンド」の立ち上げを提案します。陶山地区が豊かな生活を維持発展させるには、積極的な取り組みが欠かせないと思います。</p>	<p>現在行っている活動は、種々の公費を財源としていますが将来的に保証されたものではありません。特にまちづくり協議会の活動については、自主財源を探る方向へ進むものと思われま。今後活動を更に発展させていくためには自主財源の確保が重要になってきます。提案のありました「陶山振興ファンド」も一案として検討します。</p>
4	<p><活動指針「文化を引き継ぎ豊かな自然を守る」について> 自然と文化は真逆な関係にあり、自然が豊かになったら人間社会も文化も崩壊してしまいます。人間の生活文化を高めようとしたら自然を犠牲にしなければなりません。自然と呼ばれる山野を開発という大義名分で切り開き多くの自然を犠牲にしてきました。豊かな自然とは、整然と手入れした林野を考えているのかもしれませんが、そのような状態は自然とは言いません。人の手が入ったら文化なのです。現在の状態の陶山の自然は本当の自然だと思います。我々はこのままの自然を次世代につなごうと得ないのです。</p>	<p>自然と文化は共存共生できる、そしてすべき関係だと思います。動物も人類も自然の中で進化してきました。人間も自然の一員で構成員です。人間の手の入らないのが自然との見解には同意できかねます。 陶山の自然と文化を守り、未来へつないでいくことは「みんなが笑顔で暮らし元気あふれる陶山」にするための重要な活動指針であると考えています。</p>
5	<p><高齢者配食サービス・友愛訪問について> 高齢者配食サービス・友愛訪問の対象者が70歳以上の単身者となっているが、75歳以上の単身者です。</p>	<p>ご指摘のとおりで75歳以上の単身者でした。お詫びして訂正いたします。</p>

	ご意見の要旨	陶山まちづくり協議会の考え方
6	<p><公共交通問題の研究について> 陶山4地区を巡回し、市の中心部で病院、買い物等の用事を済ませるためのマイクロバスの運行を提案します。一日一便、週に1～2回、有料で構いません。</p> <p>また陶山地区だけではなく、曜日ごとに各地区（新山、神島、北川、大島等）を巡回するマイクロバスの運行を市の事業として進めることを提案します。</p>	<p>公共交通の縮小は、特に高齢者には深刻な問題であり、その対策の研究は、以前からまちづくり協議会の交通問題研究部会で取り組んでいます。実際に運行している地区の調査や陶山地区住民のニーズ調査が必要と考えており、今後さらに研究を進めてまいります。提案のありましたマイクロバスの運行も一つの案として検討してまいります。また市の事業化の提案も併せて検討してまいります。</p>
7	<p><地域がつながるまち会議について> 社会福祉協議会が事業主体である地域がつながるまち会議の協働に敬業会を加えていただきたい。そのうえで、活動内容に個人の家庭から食材を寄付していただき、必要な人に活用してもらう「フードドライブ活動」を取り上げていただきたい。</p> <p>この活動を社会福祉協議会陶山支部と敬業会が協働して行えば、呼びかけの範囲も広がり、より実効性のある活動になり、これを契機として、地域内の支え合いにとどまらず、地域住民がつながりあって行う社会貢献活動に発展することが期待できる。</p>	<p>地域がつながるまち会議に敬業会が加わることは、活動の趣旨からみて大変好ましいことです。社会福祉協議会陶山支部と協議し、加わることになったら協働の欄に敬業会を追記します。またフードドライブ活動については、現在すでに活動が展開されているので、敬業会を事業主体とした活動として計画書に追記いたします。</p>
8	<p><通学路の見守り・防犯パトロールについて> 通学路の見守りについては、非常にありがたい活動で、引き続き行って欲しい。</p> <p>見守り隊、付き添いボランティアの会の記載がありますが、他に交通警察協助手員、交通安全協会陶山支部、更生保護女性会も関わってくれています。防犯パトロールも同様に非常にありがたいです。</p>	<p>地域の安全安心のための重要な活動であり、今後も継続して取り組んでいきます。</p>

	ご意見の要旨	陶山まちづくり協議会の考え方
9	<p><観光開発部会の活動について> 観光開発部会の活動の記載がないのはどうしたことでしょうか。いろいろな資料や看板、さらには神之峰登山ルートの整備などが行われたのに残念です。</p> <p>陶山には神之峰、在田神社、陶山神社、ミニ熊野古道、阿弥陀如来立像、泉福寺と十二ヶ坊、にひた池跡など陶山特有の光輝くものがあります。これを活用して物産品を作るとか食べ物の提供など工夫すれば陶山の観光として立派にやっていけると思います。</p>	<p>まちづくり計画は、現在継続して取り組んでいる活動と、これから新規に取り組む活動を記載しており、すでに実施済みの活動は記載いたしません。以前作成した「陶山百選」「陶山百選ガイドマップ」等の資料作成はすでに完了したもので記載していませんが、これらを利用して一般に広める活動をします。神之峰登山ルートの整備は神之峰登山ルートの保全として記載しています。</p> <p>特産品の開発活動は過去に取り組んだこともありましたが、実現できませんでした。今後実現することを期待しています。</p>
10	<p><有害鳥獣対策の実施について> イノシシ等有害鳥獣の防止を素人が実行するのは、危険であり、人体被害が発生したら誰が責任を持つのでしょうか。住民の命と財産を守ることは、行政の使命でありこの活動は行政が行うべきものと思います。</p> <p>まちづくり協議会がすべきことは、早期の連絡網の設置とネットワーク活動ぐらいだと思います。</p>	<p>有害鳥獣対策は行政だけに頼ることはできません。土地の所有者の自助努力だけでもできません。まちづくり協議会ではイノシシ対策として有害鳥獣侵入防止を図る活動を行います。そのためには、住民、まちづくり協議会、行政の協働で取り組むべきものと考えます。</p>